

「「ありがとう」を伝え合おう条例（案）」についてのご意見に対する回答

貴重なご意見ありがとうございました

案 件 名 「ありがとう」を伝え合おう条例（案）について
意見募集期間 令和5年10月25日（水）から令和5年11月24日（金）まで

パブリック・コメントとしてご意見を募集した結果、3名の方から3件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する本市議会の考え方を次のとおり公表いたします。

【ご意見の概要とご意見に対する市議会の考え方】

	ご意見の内容	市議会からの回答（対応）
1	<p>「ありがとう条例」提出は、やめるべきです。愚条例です。</p> <p>こんなことに時間をかけるなら、もっと大事なこと（貧困、環境問題等）を審議すべき。</p> <p>理由</p> <p>①一般に、人の気持ち、感情を、自治体が外側から引き出したり、促すようなことをすべきではない。内心の自由を保障した憲法に反します。</p> <p>②「ありがとう」という感情、表現は、心からそう感謝したいときに湧き起こる自然なもので、心にもない虚礼がまかり通る可能性がある。</p> <p>市立図書館などで、利用者に「ありがとうございました」などと、職員が言うてくるが、委託業者だけ</p>	<p>本条例は、市民の皆様に「ありがとう」を伝え合うことを強制するものではなく、虚礼を推奨するものではありません。あくまで、一人ひとりの心の中から感謝の気持ちが自然と湧き上がったときに、伝え合う意識の醸成を図るものです。感謝の気持ちを共有することを推奨することで、笑顔で幸せを実感できるまちをつくっていくことを目指します。</p> <p>今後も、本条例について啓発を図る際には、市民の皆様の自由な意思を尊重することを念頭に進めてまいります。</p> <p>なお、市民生活における様々な課題に対しましては、議会として、引き続き適切な政策決定及び積極的な政策提言を行ってまいります。</p>

	<p>ら、へりくだるのかもしれないが、商店で物を買ったわけではないので、不適切である。これも虚礼の一例です。</p>	
2	<p>私は、市内大前交差点隣り、信号のない横断歩道で戸田南小の交通誘導警備業務に従事しております。</p> <p>戸田公園駅への近道で歩行者は比較的多く、通行車両に一時停止をお願いする事が多く「敬礼・軽いお辞儀」を心掛けております。</p> <p>条例案をお聞きして「ありがとう」の一言を付け加えてみました。</p> <p>ドライバー各位の対応が少しずつ優しくなってきました。お互いの距離も近くなり、歩道手前の停止速度もやさしさを感じます。</p> <p>寒さも厳しく心も乾燥しがちになりつついつい運転も荒くなる季節ですが、「ありがとう」の輪を広げる一人となれたらと思っております。</p> <p>本条例案を支持させていただきます。</p>	<p>「ありがとう」を伝え合おう条例(案)の意義にご賛同いただきありがとうございます。</p> <p>本条例をとおして、感謝の気持ちを伝え合うことにより、市民の皆様の相互理解や互いの尊重を促進し、少しでも皆様が幸せを感じることができるようなまちをつくってまいります。</p>
3	<p>「ありがとう」を伝え合おう条例制定の必要性はないと考えます</p> <p>親切にしてもらったり心を配ってもらったときのお礼の言葉として「ありがとう」という感謝の言葉があります。幼いころ親や家族から教わった言葉であり、長じて最初の集団生活を始める幼稚園、保育園の先生から教えてもらった言葉と記憶しています。また、お互いの良好なコミュニケーションの一手段として日本だけでなく各国にこの趣</p>	<p>本条例の意義として、感謝の言葉を伝え合うことで、お互いに良好な関係をつくるためにきっかけづくりを促すというものがあります。</p> <p>また、あくまで、市民の皆様に対し、感謝の気持ちを持つことを強制するのではなく、その気持ちが自然に湧き上がったとき、それを伝え合うことが、相互理解や互いの尊重において重要であることを再認識していただき、幸せを実感できるまちへの一助にしていきたいという思</p>

<p>旨の言葉が存在しているのは理解できます。</p> <p>しかし、「ありがとう」がまちじゅうに溢れば、みんなが元気で明るく心豊かになり、ひいては笑顔で幸せを実感できるまちになる、とはあまりにも短絡的な考え方ではないでしょうか。「ありがとう」は自発的に発する言葉で個々の気持ちの醸成です。そのためのお膳立てを「公」や「議会」が行うというのは、いわば余計なお世話だと思われます。仮に今、人間関係が殺伐とし、希薄になっているというのであれば、その大本を探り、是正するなどより良い方向に進めていく手段を考えることが「公」であり「議会」の役割ではないでしょうか。</p> <p>条例では、市民に対してありがとうを伝え合うことを努力義務とし「公」は啓発活動を行い、その検証を行うとしています。「条例」という性質上当然の流れとはいえ、立場立場によっては意図していたこと以上に拡大解釈される恐れがあります。また、些細なことと異議を申し立てなければ、様々な日常生活に「公」や「議会」が市民生活に口を出してくるのではないかという危惧や懸念も感じます。</p> <p>私は、あえてこの「ありがとう」を伝え合おう条例」を制定する必要性を感じません。</p>	<p>いで制定するものです。</p> <p>なお、市民の日常生活に口出しするものでは決してありません。</p> <p>人間関係の希薄化により、地域コミュニティも失われつつあります。有効な手段を模索することも当然必要ではありますが、地域コミュニティを構成する個々の市民が元気で明るく心豊かであることも大切だと考えます。</p> <p>今後、本条例の啓発と併せ、地域コミュニティの活性化については、議会においても適宜適切に討議してまいります。</p>
--	---